

採択セッション	セッションテーマ	UMIN 登録番号	演題番号	演題名	発表日	セッション時間	会場名
シンポジウム1	ICI治療に対する Translational Research最前線	10015	S1-5	樹状細胞におけるprotein tyrosine phosphatase non-receptor type 3(PTPN3)抑制により生じる抗腫瘍免疫への効果とその機序の考察	12月1日（木）	9:55～11:55	第1会場
		10074	S1-6	大腸癌における腫瘍細胞内cGAS-STING経路を標的とした新規治療戦略			
シンポジウム2	消化器癌におけるICI最前線	10040	S2-3	免疫抑制環境を誘導するゲムシタピン耐性膵癌に対する新たな複合免疫療法の開発	12月1日（木）	12:45～13:45	第1会場
シンポジウム3	ICI治療のNext Step	10063	S3-5	AIイメージサイトメトリーを用いた直腸癌術前化学放射線療法の腫瘍CD8+T細胞の新たな評価法の開発	12月1日（木）	14:50～17:00	第1会場
		10065	S3-6	Hepatic steatosisの胃癌ICI治療へ与える影響—悪液質との関係から—			
		10067	S3-7	免疫チェックポイント阻害剤の治療限界を克服しうる新規がんペプチドワクチンによる腫瘍免疫原性の向上			
シンポジウム4	ゲノム解析とICI治療	10030	S4-3	シングルセルRNAseq解析を用いた腫瘍免疫に影響を及ぼす大腸癌関連線維芽細胞亜集団の同定と機能解析	12月2日（金）	9:00～10:40	第2会場
		10076	S4-4	血中循環腫瘍DNAゲノムスクリーニングに基づく腫瘍横断的なICI併用療法の開発			
シンポジウム5	肺癌におけるICI最前線	10011	S5-4	化学放射線療法 + 免疫療法を行った3期切除不能非小細胞肺癌における、末梢血リンパ細胞のTCRレパトア解析	12月2日（金）	13:05～14:20	第2会場
		10088	S5-5	進行肺癌に対する複合がん免疫療法の現状と昭和大学での取り組み			
ワークショップ1	複合免疫療法の工夫	10013	WS1-1	放射線治療による腫瘍細胞内cGAS-STING経路を介した食道扁平上皮癌微小環境リモデリング機構の解明	12月1日（木）	8:45～9:30	第2会場
		10027	WS1-2	放射線治療における腫瘍内CD8+ T細胞の動態			
		10061	WS1-3	キチンオリゴ糖服用による抗癌免疫作用の臨床研究と作用機序の考察			
ワークショップ2	ir-AEに対する対応	10092	WS2-1	Nivolumab+Ipilimumab療法中に同時多発的に多臓器irAE(irAE E マーチ)を来した自験例と文献的考察	12月1日（木）	11:05～11:50	第2会場
		10012	WS2-2	当科において経験した免疫チェックポイント阻害薬に伴う皮膚irAE 110例の臨床的検討			
		10099	WS2-3	当院における免疫支援チームの取り組み			
ワークショップ3	腸内細菌とがん免疫	10031	WS3-1	大腸癌における腫瘍浸潤リンパ球と腸内細菌叢について	12月1日（木）	16:55～17:55	第2会場
		10038	WS3-2	マウス歯周病モデルによる腸内細菌叢を介した移植免疫への影響の解明（短鎖脂肪酸濃度変化の観点から）			
		10047	WS3-3	ラットを用いた歯周炎と腸内細菌叢の移植免疫に対する影響の研究（Treg多寡の観点から）			
		10098	WS3-4	口腔扁平上皮癌における細菌叢と腫瘍内免疫プロファイル			
ワークショップ4	免疫細胞療法	10018	WS4-1	腫瘍mRNA遺伝子導入iPS細胞由来樹状細胞は腫瘍ネオアンチゲンを認識する	12月1日（木）	17:05～17:50	第1会場
		10022	WS4-2	p53を抗原とする樹状細胞ワクチンによる前感作はp53武装化ウイルス免疫療法の治療効果を増強する			
		10052	WS4-3	Sharedネオアンチゲンと特異的T細胞受容体のスクリーニング			
一般演題1	集学的治療のための基礎研究	10032	O1-1	HER2陽性胃癌におけるcGAS-STING経路の役割	12月1日（木）	8:45～9:49	第1会場
		10036	O1-2	C4orf47は膵癌において低酸素環境での休眠に関与する			
		10044	O1-3	ARID1A欠損胃癌に対するAKT阻害薬の有効性			
		10053	O1-4	消化器癌・肺癌の包括的な治療開発のためのFAM115Cの生物学的意義の網羅的解析			
		10083	O1-5	In vitro腹膜播種転移モデルを用いたマルチオミクス解析による大腸癌転移機構の解明と制御法の開発			
		50000	O1-6	In vivo エレクトロポレーションを用いたマウス膠芽腫モデルの構築			
		10043	O1-7	大腸癌における癌促進的にはたらく炎症関連miR-4257の役割			
		10081	O1-8	大腸がんにおける腸内細菌叢と腫瘍浸潤免疫細胞の関連			
一般演題2	免疫療法のための基礎研究(1)	10028	O2-1	エピキチンプロテアソーム系を応用した新規iPS細胞由来樹状細胞ワクチン療法の基礎研究	12月1日（木）	9:35～10:23	第2会場
		10069	O2-2	Eph/ephrinシステムを介したPD-L1の発現調節機構			
		10035	O2-3	腫瘍内高乳酸環境はB細胞のヒストンH3アセチル化を亢進し制御性B細胞を誘導する			
		10072	O2-4	可溶性NKG2DLは T細胞におけるNKG2D/NKG2DLシグナルを阻害する			
		10079	O2-5	がんの放射線治療後に起こる免疫反応を利用する改良型・樹状細胞ワクチン療法の開発			
		10097	O2-6	イノシンはT細胞疲弊および制御性T細胞の抑制を介して抗腫瘍効果を発揮する			

採択セッション	セッションテーマ	UMIN 登録番号	演題番号	演題名	発表日	セッション時間	会場名
一般演題3	ICIの使用経験(1)	10023	03-1	ニボルマブ投与中に続発性副腎クレーゼをきたした大腸癌患者の1例	12月1日（木）	10:28～11:00	第2会場
		10095	03-2	S状結腸癌術後再発に対し、既存の化学療法に抵抗性を生じるも、pembrolizumabが適応となり長期生存を得た1例			
		10094	03-3	肺腺癌Stage4Bに対してCBDCA/PEM/Pembrolizumab投与にて、併発していた横行結腸癌に完全奏効を得られた1例			
		10104	03-4	盲腸癌の傍大動脈リンパ節転移再発に対してNivolumab + Ipilimumab療法が奏功した1例			
一般演題4	免疫療法のための基礎研究(2)	10101	04-1	悪性リンパ腫における短鎖脂肪酸によるT細胞の抗腫瘍効果の増強	12月1日（木）	12:50～13:38	第2会場
		10089	04-2	腫瘍融解アデノウイルス製剤の免疫賦活薬としての有用性とICIとの併用治療の可能性			
		10068	04-3	免疫チェックポイント阻害薬の治療効果に対する食物摂取頻度調査による食物繊維量を含む栄養成分毎の影響評価			
		10020	04-4	ネオアンチゲンワクチン療法における特異的免疫反応増幅への樹状細胞由来エクソソームの関与			
		10086	04-5	固形がん患者における抗PD-1抗体の治療有効例と免疫学的有害事象発症例に多い腸内細菌の同定			
		10102	04-6	腸内細菌代謝産物短鎖脂肪酸AはT細胞の活性化およびM1マクロファージの誘導を介して抗PD-1抗体療法の抗腫瘍効果を増強する			
一般演題5	化学療法・集学的治療	10029	05-1	複合免疫療法と手術による集学的治療が奏功したStageIV胃癌の1例	12月1日（木）	14:50～15:30	第2会場
		10042	05-2	骨肉腫に対するゲムシタピンとラパマイシン併用療法 — アポトーシス誘導とその増強効果 —			
		10080	05-3	放射線治療と免疫チェックポイント阻害薬の併用における安全性及び効果			
		10051	05-4	当院における肛門管扁平上皮癌に対する化学放射線療法の治療成績について			
		10056	05-5	再発大腸癌に対するlate lineでの示唆に富むレゴラフェニブ使用経験			
一般演題6	ICIの使用経験(2)	10070	06-1	食道癌の術後補助療法または切除不能進行食道癌に対する1次治療としての免疫チェックポイント阻害薬の使用経験	12月1日（木）	15:35～16:15	第2会場
		10091	06-2	切除不能進行・再発食道癌に対するPembrolizumab + CDDP/5-FU療法の12例の検討			
		10093	06-3	100症例以上の進行・再発食道癌に対する免疫チェックポイント阻害薬を中心とした薬物療法の治療成績と解析			
		10014	06-4	当科における転移性腎細胞癌に対するIO-TKILレジメンの初期使用成績			
		10064	06-5	nivolumab・ipilimumab併用療法後、切除可能となったcT3b腎癌・下大静脈腫瘍栓の3例			
一般演題7	ICIの使用経験(3)	10017	07-1	当院における免疫チェックポイント阻害薬に起因するirAE肝障害の対策と重症例について	12月1日（木）	16:20～16:52	第2会場
		10082	07-2	治療切除不能進行・再発胃癌に対する1次治療としてのNivolumab + SOX療法5例の使用経験			
		10037	07-3	当院の切除不能進行・再発胃癌に対する1次治療におけるNivolumabの使用経験			
		10024	07-4	ニボルマブによる三次化学療法およびトラスツマブ・デルクステカンによる四次化学療法が奏功したHER2陽性進行胃癌の1例			
一般演題8	腫瘍微小環境(1)	10033	08-1	Stage I-III大腸癌における術前Dダイマー値の予後予測マーカーとしての意義	12月2日（金）	10:45～11:25	第2会場
		10016	08-2	悪性胸膜中皮腫切除例における末梢血好中球/リンパ球比、予後栄養指数、ならびに腫瘍微小環境内PD-L1発現の解析			
		10019	08-3	StageIII大腸癌における癌線維芽細胞MMP14の生物学意義の検討			
		10039	08-4	癌間質におけるTGF-βと腫瘍浸潤免疫細胞でのTIM 3の発現との関連について			
		10041	08-5	大腸癌マウスモデルにおける血管内皮グリコカリックス異常による癌微小環境免疫異常			
一般演題9	ICIの使用経験(4)	10077	09-1	全身性多発転移胃癌に対し、姑息的放射線治療とニボルマブ治療を行い良好な治療効果が得られた症例	12月2日（金）	11:15～11:55	第1会場
		10057	09-2	切除不能進行再発胃癌に対するニボルマブの使用経験			
		10071	09-3	治療抵抗性となった子宮体が骨盤内再発の症例に骨盤内臓器全摘術とペムブロリズマブ投与により長期生存が得られている一例			
		10059	09-4	子宮体癌に対するペムブロリズマブ・レンパチニブ併用療法における有効性および安全性の解析			
		10025	09-5	MSI-H婦人科再発癌に対し、Pembrolizumabを投与した4症例			
一般演題10	腫瘍微小環境(2)	10049	010-1	膀胱癌のがん関連線維芽細胞（CAF）サブタイプに対する腫瘍融解ウイルス療法の感受性の検討	12月2日（金）	11:30～12:10	第2会場
		10045	010-2	病理学的完全奏効を得た筋層浸潤性膀胱癌の腫瘍微小免疫環境の検討			
		10060	010-3	間質酵素Lysyl Oxidase Like 1, 3, 4の胃癌における臨床病理学的意義			
		10090	010-4	大腸癌の腫瘍免疫微小環境におけるCD4陽性T細胞に与える肥満の影響			
		10078	010-5	胃所属リンパ節の腫瘍近傍リンパ節内の免疫抑制機構及び転移分布から見た免疫外科治療戦略			

採択セッション	セッションテーマ	UMIN 登録番号	演題番号	演題名	発表日	セッション時間	会場名
一般演題11	予後予測マーカー(1)	10021	011-1	大腸癌切除例におけるIL-6と予後および腫瘍浸潤免疫細胞の関係	12月2日（金）	13:30～14:10	第1会場
		10046	011-2	FGF受容体ファミリーの変異が子宮頸癌放射線治療予後に及ぼす影響			
		10048	011-3	大腸癌における腫瘍血管新生の新しい評価方法と予後との関連			
		10050	011-4	食道癌転移リンパ節に浸潤するtissue-resident memory T cellによる予後効果と原発巣との比較			
		10054	011-5	胃癌に対するConversion therapy施行症例における予後因子解析			
一般演題12	予後予測マーカー(2)	10066	012-1	大腸癌における血清Proteinase-3の検討	12月2日（金）	14:15～14:55	第1会場
		10073	012-2	腸内細菌による食道がん術後再発予測の試み			
		10075	012-3	SIRT5の食道扁平上皮癌における臨床病理学的検討			
		10085	012-4	EMP1低発現乳癌は高悪性度と生存の短縮と関連する			
		10087	012-5	切除不能進行再発食道癌に対するニボルマブ治療開始後の好中球リンパ球比は効果予測に有用である			
一般演題13	予後予測マーカー(3)	10062	013-1	頭頸部癌におけるPTPN3の生物学的意義の解析	12月2日（金）	14:25～14:49	第2会場
		10096	013-2	腫瘍内CD8陽性細胞浸潤、Foxp3陽性細胞浸潤、PD-L1発現は食道扁平上皮癌の予後を予測する			
		10034	013-3	切除不能再発・進行食道癌に対する抗PD-1抗体薬の効果予測因子—リアルワールドデータの検討—			